

日本病理学会 第14回ゲノム病理標準化講習会

-病理組織検体を用いたゲノム等オミックス解析研究を行うための、
検体取扱いに関する講習会-

- ・アカデミア・企業等にご所属で病理組織検体を用いた研究に従事しておられるか、今後従事するご予定の研究者の方
- ・バイオバンク等で実務に当たられている方
- ・臨床検査技師等で研究にかかる病理組織検体品質管理にご興味をお持ちの方

日本病理学会非会員でも受講していただけます。どうぞご活用ください。

会期: 2025年7月1日 (火) 10:00-7月31日 (木) 23:59

受講方法: オンデマンド配信

テキスト: ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程 (日本病理学会編集・羊土社発行, 書籍をお持ちでない方はオンデマンド配信ページよりpdf版をダウンロードしてください)+各講師のハンドアウトpdf参加費: 医師・歯科医師等 ¥ 12,000, 検査技師・学生 ¥ 5,000
問い合わせ先: 日本病理学会事務局 jsp.office@pathology.or.jp

プログラム

1. 本講習の目的: ゲノム研究基盤整備における病理の役割 (冒頭挨拶にかえて)
慶應義塾大学医学部 病理学教室 金井弥栄
2. 講義
 - 1) ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程「第1部の解説: 研究用病理組織検体の適切な採取部位」
九州大学医学部医学研究院 形態機能病理学 小田義直
 - 2) ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程「第2部の解説: 凍結組織検体採取・保管・移送方法」
慶應義塾大学医学部 病理学教室 金井弥栄
 - 3) ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程「第3部の解説: ホルマリン固定パラフィン包埋標本の適切な作製・保管方法」
慶應義塾大学医学部 病理学教室 金井弥栄
 - 4) 病院病理診断部における研究用病理組織検体収集・管理の実際
九州がんセンター 病理診断科 田口健一
 - 5) 病理組織検体を収納する研究のためのバイオバンクの構築
神奈川県立がんセンター 臨床研究所 宮城洋平
 - 6) 病理組織検体を用いた分子病理学的解析手技の実際
国立がん研究センター 先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野 加藤洋人
 - 7) 病理組織検体を用いたがん多層オミックス研究の実際
慶應義塾大学医学部 病理学教室 新井恵吏
 - 8) 認定病理検査技師の役割
一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 小松京子

受講申し込み受付はWEBにて4月25日 (金) 13時より開始

<https://www.pathology.or.jp/news/members/seminar/genome-seminar20250701-31.html> をご覧ください

